

朝川万里ピアノ・レクチャーリサイタル
～モダン・ポリフォニー～

Mari Asakawa
Piano Lecture Recital

Modern Polyphony



撮影:高村義彦 衣装:齊田信子

2020年

10月29日(木)

18:15 開場 18:45 開演

東京オペラシティ・リサイタルホール

東京都新宿区西新宿3丁目20-2 TEL.03-5353-0788

チケット:一般 4,000円、学生 2,000円

プログラム

J.S. Bach / J.S.バッハ

Contrapuncti 1, 4, 9 from The Art of Fugue / フーガの技法より1,4,9番

Elliott Carter (1908-2012) / エリオット・カーター

Two Diversions (1999) / 2つのダイヴァージョン

Milton Babbitt (1916-2011) / ミルトン・バビット

Post Partitions (1966) / ポスト・パーティションズ

It Takes Twelve to Tango (1984) / 12音のタンゴ (日本初演)

Minute Waltz (1977) / ワルツ (日本初演)

John Link (1962) / ジョン・リンク

Desire Paths (2019) / 急がば回れ (委嘱作品)

Hiroya Miura (1975) / 三浦寛也

Eventide (2016)(2020改訂版) / 暮れあい (委嘱作品)

Jason Eckardt (1971) / ジェイソン・エッカード

Echoes' White Veil (1996) / 木霊の白いベール (日本初演)

お問い合わせ・取り扱い

カメラータ・トウキョウ

TEL.03-5790-5560 <http://www.camerata.co.jp>

◆主催 / 朝川万里

◆後援 / NPO法人 八女パーゼンドルファー音楽祭プロジェクト

朝川万里

検索

Modern Polyphony

ポリフォニーという言葉は今回取り上げている曲の共通点であり、私はそのことを一番に意識してこのプログラムを組み立てました。

ポリフォニーとは複数の独立した声部を持つ形態の音楽です。織物の糸が織りなすように、各声部が鮮やかに織りなして音の綾を創りだしています。

このプログラムはポリフォニー音楽の頂点を一旦バロック時代に築いたバッハに始まり、20世紀に返り咲いたポリフォニー音楽の流れを汲むカーター、同年代のバビットと、彼らに続く21世紀に活躍するアメリカの作曲家を中心に構成されています。それぞれが独自のカラー、スタイルを生み出しているこれらのポリフォニー作品と共に、20世紀、21世紀のアメリカ音楽の知られざる側面を辿ります。

朝川万里



朝川万里プロフィール

20世紀、21世紀の音楽を専門に、日、米、欧で活躍するピアニスト。
ジュリアード音楽院、エルム大学大学院卒業。
2004年にはプロコフィエフ没後50年を記念してイタリアPhoenix Classics社からプロコフィエフピアノソナタ:「戦争ソナタ6、7、8番」のCDをリリースし、「奥に秘められた作品の豊かさを浮き彫りにしていく成熟度の高い演奏」「近年はやりの怒り肩のプロコフィエフとは一線を画している」と高く評価された。
その後、イタリア、日本、イギリスを含む計10カ所でのプロコフィエフピアノソナタリサイタルや、イタリア、フランス、スイス、日本にて「ピアノが奏でる20世紀の音」と題するリサイタルを開催。
2012年2月には、アメリカ・ニューヨークのカーネギーホール・ワイルリサイタルホールとニューヨーク州立大学で、アメリカを代表する作曲家エリオット・カーターのピアノ作品のリサイタルを開催し、その場に会場した103歳のカーター氏の賞賛を得る。
同年12月に東京・杉並公会堂にて開催されたエリオット・カーター追悼演奏会・ピアノリサイタルがNHK FM「現代の音楽」にて放送される。
2016年に再度渡米しベイツ大学及びカーネギーホール・ワイルリサイタルホールでリサイタルを開催した。長年に渡りカーター音楽を日、米、欧で演奏

を続けてきた功績が認められ、2017年にはカーター氏が存命中に設立したAmphion財団より助成を得て、日本人アーティストとして初めてのカーター録音を行った。2018年の夏にCentaur Records (CRC3646S)よりリリースされたCDはアメリカと日本の音楽誌で高い評価を得、レコード芸術の特選盤に選ばれた。同年、東京とニューヨークでCD発売記念リサイタルを開催する。2019年にはニューヨーク近郊の大学5校でレクチャーリサイタルを開催。
現在、愛知県立芸術大学、玉川大学、放送大学で非常勤講師を務める。
近現代ピアノ音楽塾主宰。

公式サイト
<http://mariasakawa.com>



The Flow of Music / 朝川万里

作曲家プロフィール

三浦寛也 (1975~)

1975年仙台生まれ。学生時代をカナダのモントリオールで過ごし、現在アメリカを中心に活動。これまでアメリカン・コンポーザーズ・オーケストラ、ベルグ・オーケストラ、ヌーヴェルアンサンブル・モダン、ニューヨーク・ニューミュージック・アンサンブル、モメンタルテット、ジュリアード・パーカッションアンサンブル、伶楽舎メンバー等に作品を提供し、北中南米、欧州で演奏される。雅楽、即興音楽、映画音楽、インスタレーションなど、発表の場と媒体にとらわれない音楽活動を展開。
コロンビア大学博士課程修了。
現在ベイツ・カレッジ准教授、コロンビア大学中世日本研究所・日本文化戦略研究所芸術監督。

ジョン・リンク (1962~)

ジョン・リンクの作品は、これまでにニューフォーカスレコーディング、ブリッジレコード、60×60レーベルに録音され、米国各地、日本で演奏されている。
また数多くの委嘱作品をニュージャージー・パーカッション・アンサンブル、シュアアップ・フィルハーモニック、リンカーン・フレンズ・オブ・チェンバーミュージック、朝川万里、ダニエル・リベル、キャロライン・スティンソンなどに提供している。
また、カーター作品の研究者としても世界的に知られ、多くの著書をケンブリッジ大学プレス、カール・フィッシャーより出版している。
現在ウィリアム・パテルソン大学教授。

ジェイソン・エッカード (1971~)

ギター奏者としてジャズとメタルバンドで演奏していた時に、初めてウエーバーンの音楽を聴き、作曲家になることを決意した。
それ以降、彼の音楽は、認知的複雑性、肉体面精神面のパフォーマンス、政治活動、自然界における自己の成り立ちなど、多くの分野から影響を受けている。カーネギーホール、タングルウッド、ターセヴィツキー財団などに委嘱され発表した作品の数々は高く評価されている。これまでにイルカム、タングルウッド、ダルムシュタットなどの音楽祭で作品が演奏されている。
現在ニューヨーク州立大学及びブルックリン大学作曲科教授。ニューヨーク州のキャッツキルマウンテンに住む。